



生命をまもる空間をまもる、という使命。

株主の皆様へ

第60期報告書

— 2022年4月1日～2023年3月31日 —

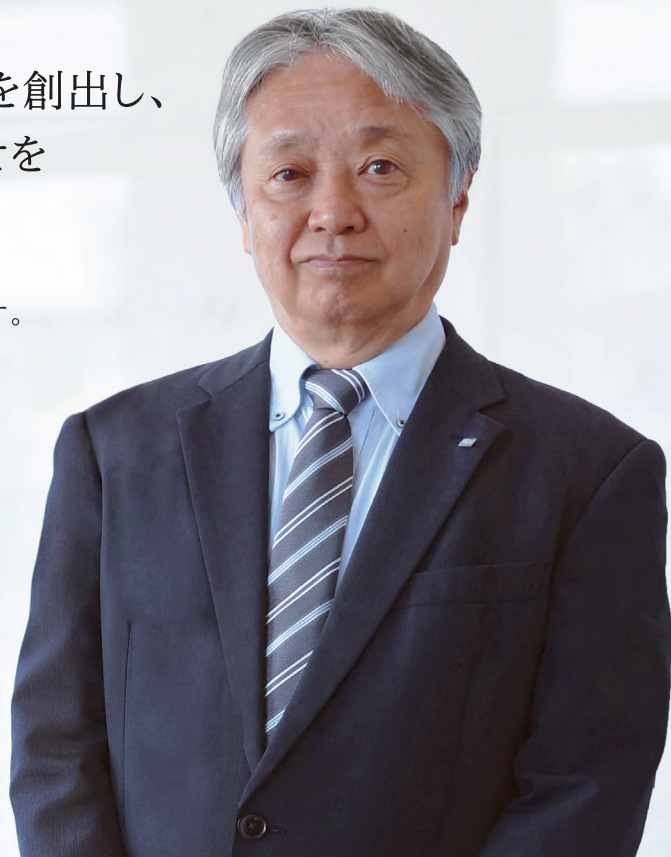
- 株主の皆様へ …………… P.1
- 2023年3月期の経営成績の概況 …………… P.2
- 連結業績ハイライト …………… P.3
- 株主還元について …………… P.4
- 特集 株主・投資家の皆様との対話の実施状況について …………… P.5
- 会社概要・株式情報 …………… 裏表紙

事業活動を通じて社会的価値を創出し、
全てのステークホルダーの幸せを
追求してまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社2023年3月期
(2022年4月1日から2023年3月31日)における
営業の概況ならびに決算の内容等につきまして
ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、
今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、
お願い申し上げます。

2023年6月
代表取締役社長 田中 洋二



日本空調グループ
経営理念

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。

全社員が一丸となって経営理念を共有し、お客様の満足度のより
一層の向上を追求しております。

これからも、建物設備のメンテナンスサービスを通じて、建築物に要求
される最適な環境を実現する「環境創生企業」として社会に貢献する
ことが、私たち日本空調グループの使命であると考えております。

2023年3月期の経営成績の概況

2期連続過去最高

売上高

52,886百万円

(前期比+6.0%)

売上高全体としては、前期比6.0%増の52,886百万円となりました。**(2期連続過去最高)**

12期連続過去最高

メンテナンス
サービス売上高

34,682百万円

(前期比+2.7%)

メンテナンスサービス売上高⇒主に病院及び研究施設、製造工場等におけるスポットメンテナンス案件の増加が寄与し、前期比2.7%増の34,682百万円となりました。**(12期連続過去最高)**

過去最高

リニューアル工事
完成工事高

18,203百万円

(前期比+12.9%)

リニューアル工事完成工事高⇒病院及び研究施設、製造工場等、オフィスビル等における設備工事案件の増加や供給制約への対応・改善等による案件消化の加速が寄与し、前期比12.9%増の18,203百万円となりました。**(過去最高)**

営業利益

2,847百万円

(前期比+8.8%)

前期まではコロナ禍による行動制限がありましたが、今期は通常の営業活動等が再開でき、販管費の増加につながったものの、それを上回る売上高の増加により、営業利益は前期比8.8%増の2,847百万円、経常利益は前期比8.9%増の3,051百万円となりました。

経常利益

3,051百万円

(前期比+8.9%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

1,940百万円

(前期比▲31.2%)

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比31.2%減の1,940百万円となりました。

※前期は政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益(1,391百万円)を計上

決算説明会書き起こしにつきましては、右記サイトページをご覧ください。 <https://finance.logmi.jp/378206>

連結業績ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期

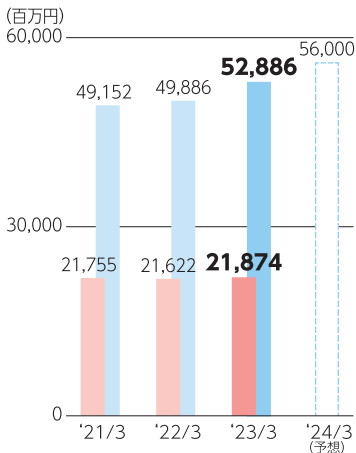
決算情報や最新のIRニュースはこちらから ▼

<https://www.nikku.co.jp/ja/ir.html>

■ 売上高

52,886 百万円

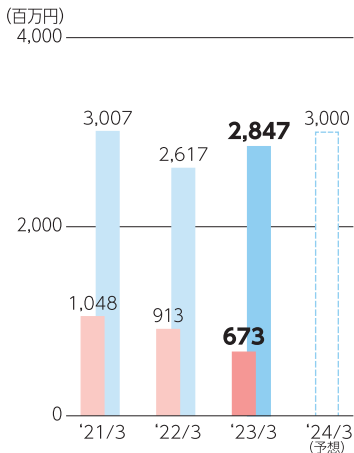
前期比 6.0%増 ▲



■ 営業利益

2,847 百万円

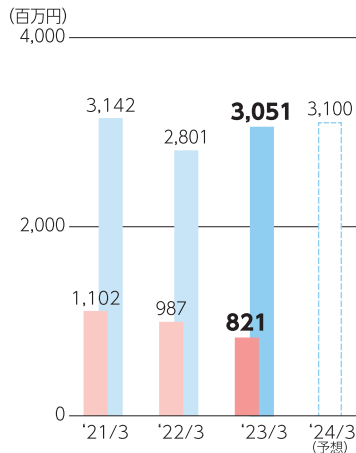
前期比 8.8%増 ▲



■ 経常利益

3,051 百万円

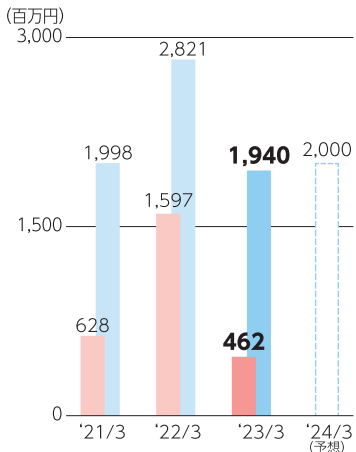
前期比 8.9%増 ▲



■ 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

1,940 百万円

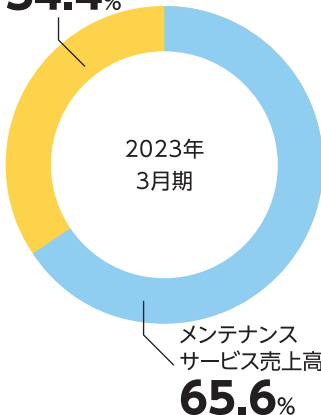
前期比 31.2%減 ▼



■ 種類別売上高構成

リニューアル工事
完成工事高

34.4%



■ 受託施設別売上高構成

特殊な環境を
有する施設

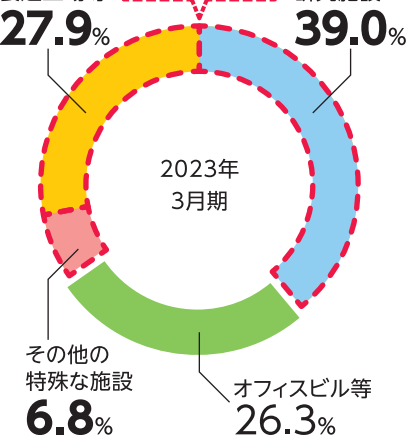
73.7%

製造工場等

27.9%

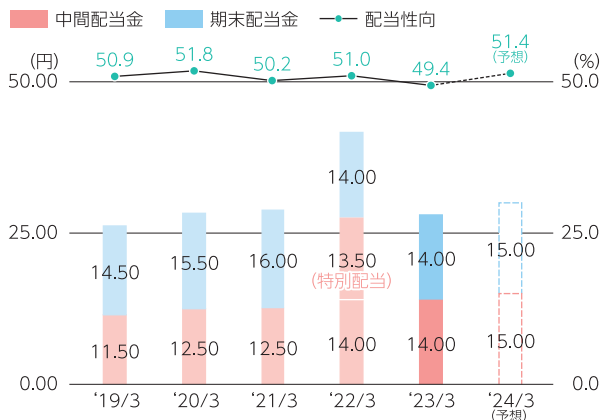
病院及び
研究施設

39.0%

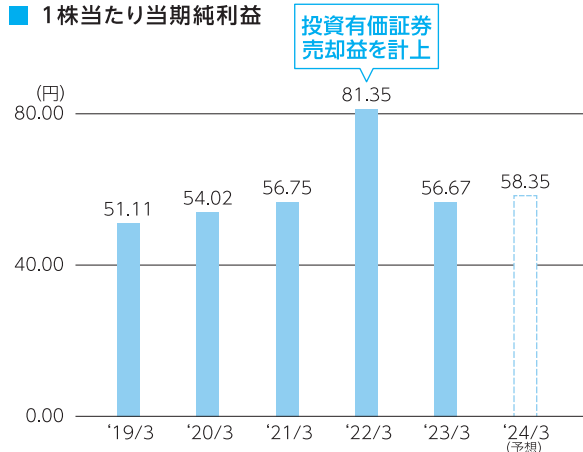


株主還元について

1株当たり配当金・配当性向



1株当たり当期純利益



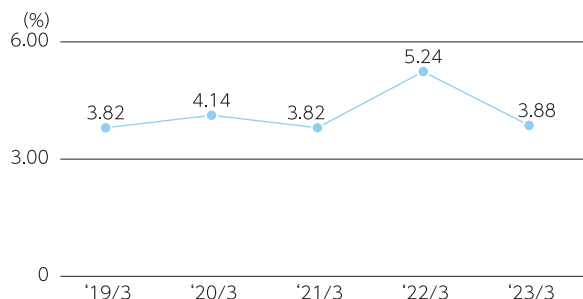
2023年3月期 1株当たり配当金実績

中間	期末	年間
14円00銭	14円00銭	28円00銭

2024年3月期 1株当たり配当金予想

中間	期末	年間
15円00銭	15円00銭	30円00銭

配当利回り



2024年3月期(2019中期5ヵ年経営計画最終年度)の業績予想

連結(累計期間)	(百万円)	
	'24/3予想	2019中計最終年度目標
売上高	56,000	55,000
営業利益	3,000	3,000
経常利益	3,100	3,100
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000	1,900

新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立が進む一方で、不安定な国際情勢や物価上昇、供給制約等が続くと予想するものの、省エネや省コスト等に関する潜在ニーズを掘り起こし、増収・増益を目指してまいります。また、2023年4月より全正社員の給与水準の引き上げ(平均6.8%)を実施しております。人件費は増加しますが、売上高予想については中計最終年度の目標を1,000百万円上回る**56,000百万円**とし、営業利益は人件費上昇分を吸収した上で、中計目標値の**3,000百万円**を目指します。

株主・投資家の皆様との対話の実施状況について

当社は、株主・投資家の皆様との「対話」による双方向コミュニケーションを重要視しております。当社の経営状況や運営方針の正確・迅速な開示に努めると共に、皆様からのご意見等を経営にフィードバックすることによって、企業価値の最大化に取り組んでいます。以下に、2021年度、2022年度における当社IR活動の実績報告を掲載いたします。

IR活動の実績

活動	回数／参加人数		内容
	2021年度	2022年度	
機関投資家・アナリスト向け決算説明会	2回／計53名	2回／計37名	中間・期末の決算説明会を開催
個別取材	11社／計13回	7社／計7回	代表取締役社長による国内外機関投資家・アナリストとの対話（ESGに関するものを含む）
定時株主総会	1回／計28名	1回／計32名	議決権の事前行使を推奨する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催
名証IR EXPO	開催無し	2日間／約800名 （ブース来場者数）	当社ブースにおける個人投資家との対話＋ミニ説明会 ※（株）名古屋証券取引所主催
名証IRセミナー オンライン	1回／約160名	1回／約200名	個人投資家向け会社説明会（オンライン形式） ※（株）名古屋証券取引所主催
株式投資 ウインターセミナー	開催無し	1回／約285名	個人投資家向け会社説明会（対面形式） ※（株）名古屋証券取引所主催
株主様アンケート調査	1回／1,241名 （回答者数）	1回／1,156名 （回答者数）	2021年・2022年9月末時点の株主様へアンケートを送付
潜在株主アンケート調査	1回／1,030名 （回答者数）	1回／1,030名 （回答者数）	個人投資家を対象としたインターネット調査 （当社Webサイトコンテンツを閲覧しアンケートに回答する形式）

投資家との対話の主なテーマ、質疑応答事例紹介（一部抜粋）

※記載内容は2023年6月時点の情報に基づいております。

競合状況・優位性について

Q あらゆるメーカー機器に対応できる高い技術力について、具体的にどのような技術教育を実施しているのか。

- A
- 各種メーカーの研修会に参加し、機器の保守・メンテナンスの研鑽を積んでいる。各メーカーから、研修という形での技術提供がある。
 - 当社社内では、半世紀以上に渡って蓄積してきたノウハウを体系的に学ぶ「10年カリキュラム」に沿って教育を行っている。また「インストラクター制度」等での新人育成や、部門を横断した定期的な研修会・勉強会等で技術力を磨いている。
 - 新卒採用は文理問わず実施し、入社後に技術等を基礎から学べる体制を整えている。

〈 2022年度教育、研修実績 〉

座学・実技 ※当社単体実績

実施人数 / 1,107名 (延べ人数)

受講総時間 (時間×人数) / 約15,018時間

(当社技術部門主催の研修を集計。その他、各部門主催の研修も実施している)

Q メーカー系メンテナンス企業、競合他社がある中で、貴社の競合優位性は。

- A
- 当社の強みは、2,500人以上の技術系従業員である(同業他社と比較して平均年齢が若い)。また、日本全国に営業拠点を持ち、「特殊な環境を有する施設」の管理を得意とするメンテナンス企業として、全国のお客様へ迅速な対応、きめ

細かなサービスを提供することができる。

- 軽微な修理等は当社の技術者がタイムリーに対応できるため、初期対応の速さ、対応力についてお客様から高く評価していただけている。
- 地方の設備工事会社の高齢化や後継者不足が進む中、前述の強みを持つ当社が徐々にシェアを拡大している。
- 今後、自家消費型太陽光発電やバリデーション・トータルサポート等による事業拡大を進め、更なる企業価値拡大に努める。

Q 五輪特需が終わり、ゼネコン・サブコンがメンテナンスやリニューアル工事分野へ参入することによって、競争環境が激しくなっていないか。

- A
- 新築の需要が停滞してくると、ゼネコン・サブコンもメンテナンスやリニューアル工事に力点をシフトするが、下請事業者へ発注となる場合が多く、コスト面、対応スピード面の優位性は感じない。
 - 当社は自社の従業員がタイムリーにメンテナンスやリニューアル工事を行うことができる点、お客様のニーズに応じた改善提案等で施設の安定稼働をサポートできる点で、競合優位性を築いている。



当社の強みの詳細について動画でご紹介しております。

強み紹介動画 <https://www.nikku.co.jp/ja/profile/strengths.html>

コロナ禍・供給制約等の影響について

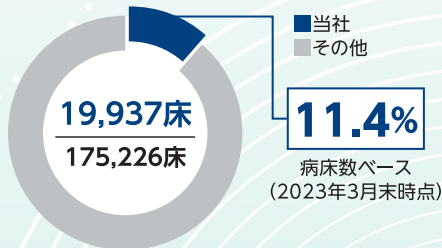
Q コロナ禍の影響や、資機材不足等の供給制約の影響について教えてほしい。

- A
- コロナ禍の行動制限等が緩和されたことにより、事業活動は**平時の状況に戻りつつある**。
 - 2021年～2022年においては、配電盤を構成する重要な部品であるインバータやシーケンサ、ブレーカー等の電子部品の納期が、半導体や樹脂、金属等の世界的な供給不足により遅延した。
 - 資機材不足、機器の納期遅延等による工期の延長や中断といった影響は、最悪期を脱したと見ている。引き続き、当該影響を最小限に抑えるよう、**受注動向を見越した資機材の早期確保や、調達ルートの多様化等に努める**。

病院シェアについて

Q 病院シェアは現状、どの程度あるのか。

A ■600床以上の病院における受託割合



- 当社は大型病院の管理を得意としており、国内の600床以上の病院における受託割合は11.4% (病床数ベース) である。他社状況を全

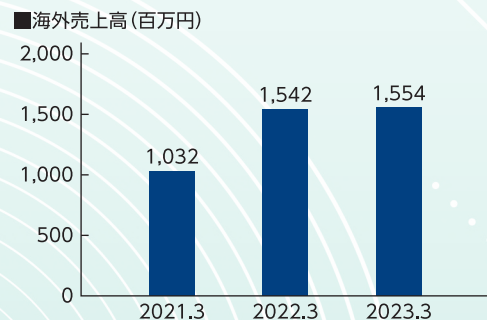
て把握することはできないが、**当社のシェアは比較的大きい**と考えており、維持管理に高度な技術力が必要とされる病院において、当社の強みが発揮できている。

- 病院では、統括管理を行うと同時に、病院毎のニーズに応じた**省エネ提案等**も積極的に実施することで、**施設運営の最適化**を図っている。

海外事業

Q 進出当初の想定と比べ、進捗状況はいかがか。中長期的な今後の見通しは。

- A
- コロナ禍により、想定より収益化が遅れている。現在は**これまでに蒔いた種が実を結び始めており**、お客様の数も着実に増え、収益化まであと一步の状況。
 - 現在、現地での技術者育成を強化するため、日本から経験を積んだ技術者を現地に派遣し、日常的にOJTで教育を行っている。
 - 今後も日本からのサポートを継続しながら現地の技術者を増やし、**技術力の底上げと利益の確保に努める**。



行動制限の緩和等により受注環境は改善

株式・株主還元について

Q 政策保有株式の保有方針と株主還元方針について教えてください。

- A
- 政策保有株式の比率が高いことは認識している。2022年3月期に一部売却を実施し、売却益については、主に株主還元に充当した。
 - 政策保有株式については、毎年取締役会において、保有目的や便益、投資効率を個別に精査し、保有の適否を判断している。引き続き、保有の合理性等について検討をする。
 - 株主様への還元としましては、当社の資本生産性を高めた上で、配当の原資となる利益を継続的に向上させるとともに、連結配当性向50%を維持することを基本方針としている。

新規事業関連

Q 製造工場等を対象とした自家消費型の太陽光発電システム導入、医薬品製造施設等の受注範囲拡大(バリデーション・トータルサポート等)について、詳細を教えてください。

- A
- 〈自家消費型太陽光関連〉
- 当事業の全国展開を見据え、2021年に「エネルギーソリューション部」を設置。お客様の再生可能エネルギー利用をサポートし、お客様の事業活動におけるサステナビリティに寄与することを目的としている。
 - 長年、富山県を中心に太陽光関連事業を実施している(株)日本空調北陸(グループ会社)のノウハウを展開し、パネル設置・省エネ工事に関わる

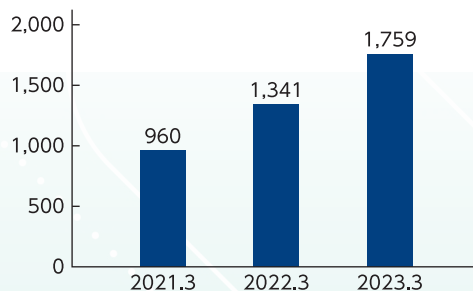
設計・見積書作成、施工管理等、一連の業務ができる人材を育成中。

- 製造工場の屋根への太陽光パネル設置は、地上や一般ビルに設置する場合と比べて非常に高度な技能やノウハウが必要になる。
- 設置工事・施工管理は有資格者(電気工事施工管理技士)が行う必要があるため、社内で当資格取得を推進している。

〈医薬品製造施設関連〉

- 医薬施設管理部(教育・技術監修を担当)が中心となり、バリデーション・トータルサポートに対応できる技術者を育成中。当該施設関連の売上高は徐々に増加している。

■概算医薬品製造施設関連売上高(百万円)



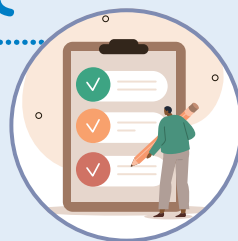
※バリデーション・トータルサポート対象外の売上高も含む。



社内研修の様子(風量・換気回数測定)

株主様アンケートの結果について

前回発行の第60期上半期報告書ご送付時に同封しました「株主様アンケート」にて貴重なご意見を多数お寄せいただき、誠にありがとうございました。頂戴しましたご意見を、今後の経営やIR活動に活かしてまいります。以下に集計結果と、お寄せいただいたご意見(一部抜粋)をご紹介します。



アンケート概要

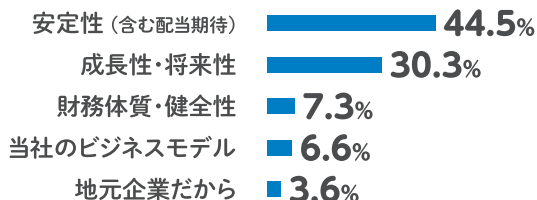
〈対象〉
2022年9月末
株主名簿記載の株主様

〈回答方法〉
はがきによる回答

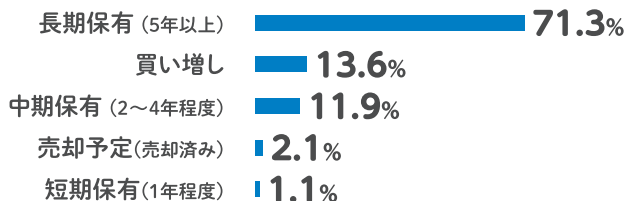
〈回答人数〉
1,156名(回答率9.6%)

ご回答集計結果(一部抜粋) ※上位5位の項目を抽出

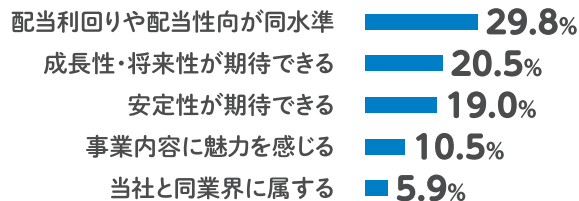
当社株式を購入の際、もっとも重視したこと



今後の保有方針について



投資対象として当社と比較する企業の特徴



株主様からのご意見(一部抜粋)

- ・「Special Talk Session」でのお話が実践につながっているか。経過報告に期待している。
- ・第三者からの評価を交えた座談会を企画してほしい。
- ・将来の経営陣候補者の育成について取り組んでいることがあれば、情報公開してほしい。
- ・株価は市場次第と承知していても、値上がりを期待している。
- ・メンテナンスは技術と人の創意工夫が必要。人材育成に期待している。配当性向50%維持にも期待する。
- ・株価を上昇させるための施策を考えてほしい。配当アップ、自社株買い等。
- ・将来性、方向性を株主に示してほしい。株主還元に期待大。

潜在株主アンケートの結果について

この度、株式投資の経験がある個人投資家の皆様を対象に、当社Webサイトコンテンツを活用したアンケートを実施いたしました。以下に当アンケートの概要・結果(一部抜粋)をご紹介します。

対象者

事前アンケートにより以下の条件から抽出されたアンケートモニター会員：1,030名

※インターネットによる回答

〈条件〉

- 直近1年間に株式の取引をした方
- 除外：銘柄選定ポリシーが「株主優待銘柄」のみの方
- A4用紙換算で50～60頁程度の資料(当社の会社説明資料や動画、その他Webサイトコンテンツ)を閲覧して回答いただける方

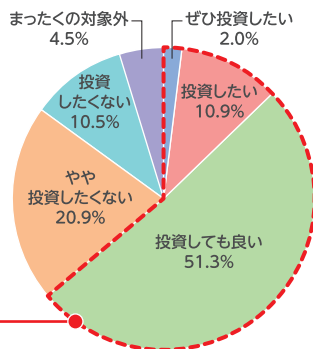
〈実施目的〉

- 1 当社から個人投資家へ情報を展開し、**当社のことを知っていただく機会とする。**
- 2 個人投資家から当社の印象やIR活動についてご意見をいただき、**今後の課題を明らかにする。**

Q ご覧いただいた資料をもとに、日本空調サービス(株)について総合的な投資判断をお聞かせください。

「ぜひ投資したい」
「投資したい」
「投資しても良い」

合計 **64.2%**



株主様、個人投資家の皆様のご期待に応えられるよう、今後とも、着実な事業活動による企業価値拡大を推進し、全てのステークホルダーの幸せ向上を追求してまいります。

個人投資家の皆様からのご意見(一部抜粋)

- ・社会基盤を支える裏方的な、人目につきにくい仕事だが、社会インフラに必要不可欠で重要な役割を担っているということをもっとアピールするべき。
- ・業界の動向や優位性についての情報があると投資判断に役立つと感じた。
- ・独立系で人材育成に力を入れて順調に売り上げを伸ばしており、今後の成長力を感じると共に、ステークホルダーの利益を重視した三方良しの考え方は良いと感じた。反面、市場でのシェア率や、競合他社に比較した技術や特許等の優位性のアピールがもう少しほしい。
- ・従業員として働く分には申し分ないと思う。今後成長していくかは海外展開次第だと思う。役員がおっしゃる従業員の働きやすい環境づくりが売上拡大につながるのはその通りだと感じた。
- ・メンテナンス技術職は、「一定のスキルに達した時点で現状維持になりがち」というイメージがあるが、研修センター構想や複線型人事制度、インストラクター制度、マスター制度のお話から、技術職のモチベーションアップを重視されていると感じた。
- ・社名は知っていたが、どういうことをしている会社なのかは今回まで全く知らなかった。世間の知名度は決して高くないと思う。まずは全国的に会社の知名度を上げる努力をされた方がいい。

会社概要 (2023年3月31日現在)

社名	日本空調サービス株式会社 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.		
本社所在地	愛知県名古屋市中東区照が丘239番2		
電話番号	052-773-2511 (代表)		
従業員数	2,130名(連結) 1,433名(単体)		
グループ会社	● 日本空調システム(株) ● (株)日本空調北陸 ● (株)日本空調東北 ● 日空ビジネスサービス(株) ● イーテック・ジャパン(株) ● 蘇州日空山陽機電技術有限公司 ● 上海日空山陽国際貿易有限公司 ● NACS BD Co., Ltd. ● Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd ● NACS Singapore Pte. Ltd. ● NACS TPS ENGINEERING CO., LTD. ● NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD. ● NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.		
役員 (2023年6月23日現在)	代表取締役社長	田中 洋二	取締役(社外) 東本 強
	取締役	依藤 敏明	取締役(社外) 北川 ひろみ
	取締役	諏訪 雅人	常勤監査役 小林 正博
	取締役	白石 一彦	常勤監査役 淵野 壽士
	取締役	室谷 敏彰	監査役(社外) 中島 雅利
	取締役(社外)	田中 登志男	監査役(社外) 寺澤 実

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	中間配当金 9月30日/期末配当金 3月31日		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
特別口座管理機関	東京都府中市日鋼町1-1 TEL：0120-232-711(通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所		
公告方法	電子公告 公告掲載URL www.nikku.co.jp ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		

株式情報 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式総数	35,784,000株
株主数	12,266名

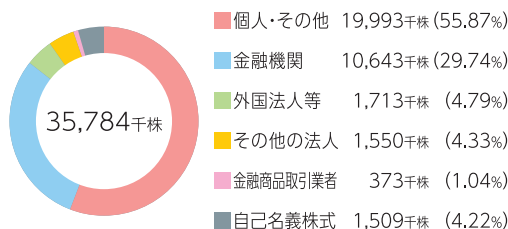
●大株主の状況

持株数(千株)

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,056
日本空調サービス従業員持株会	2,607
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,018
株式会社三菱UFJ銀行	1,640
株式会社愛知銀行	1,336
東京海上日動火災保険株式会社	1,128
重田 康光	1,003
岐阜信用金庫	800
KIA FUND 136	697
岡地 修	578

※当社は自己株式(1,509千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

●所有者別株式分布状況



※比率については、小数点第3位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

〈免責事項〉本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。